



校長通信

令和4年度27号 令和5年1月10日

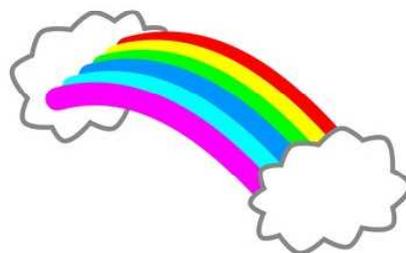
和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

1月6日、校門で子供たちが、朝日に照らされながら元気に登校してくる姿をみることができ、とてもうれしく思いました。校長通信27号は、放送による始業式で述べた校長のあいさつを掲載します。



《3学期始業式 校長あいさつ》

明けまして、おめでとうございます。お正月は、家族の団らんを過ごせたでしょうか。2学期の終業式で、3年生は、中学校卒業後の進路開拓（受験）に向けて、1・2年生は、次の学年への進級に向けて、夢をもって、目標を定め、努力して行ってほしいと話をしました。年が明けて、6日目ですが、好スタートを切れたでしょうか。



みなさんは、音楽デュオ、ゆずの、「栄光の架橋」という歌を知っていますか。2004年のアテネオリンピックの、NHK 公式テーマソングでした。私の好きな曲の一つです。

この歌のサビに、「いくつもの日々を越えて、たどり着いた今がある。だからもう迷わずに進めばいい、栄光の架橋へと。終わらないその旅へと、君の心へ続く架橋へと。」とあります。ここで言う、栄光の架橋とは、何もオリンピックで、メダルをとることだけではなく、私たちが、それぞれに夢を持ち、その夢を達成させるため目標を掲げ、一步一步進んでいくこと、そのことを、栄光の架橋と言っているのだと、私は解釈しています。

また、一つの目標を達成したとしても、前向きに生きていくには、新たな目標を掲げ、それに向けて突き進んでいく。終わらない、旅であると、この歌は訴えています。河北中学校の生徒のみなさんが、それぞれの栄光の架橋に向かって、失敗を恐れず、迷わず進んで行ってほしいと切に願っています。その想いを込めて、サビの部分を歌います。

(サビを、熱唱?・・・^^♪)

3学期のみなさんの更なる活躍を期待しています。それから、一つのことを終えても、きちんと振り返り、反省し、次に生かす、**残心**の精神もお忘れなく。